



私の思い出写真館

毎年の 年賀状の写真



大熊 克美
AIT
取締役社長



2013年年賀状：
同窓会、イタリア旅行、長男の国体出場など20枚の思い出写真

デジタルカメラが普及してきた2000年以降、事あるごとに写真を撮るようになり、数えてみたら3万枚以上になっていました。年賀状にも写真を印刷するようになりましたが、2007年の年賀状はどれを掲載しようか悩み、思い出の写真を13枚、翌年は24枚を掲載しました。

なぜこんなに思い出の写真が多くなったのか？それは、2006年に長男が小学校高学年になり日本の文化・歴史に触れさせたい、また母親も旅行に連れて行きたい、と短時間に多くの見どころを見尽くしてしまう弾丸旅行を開始し写真を撮るようになったからです。

まずは長崎1泊から始まりました。定番のグラバー園、眼鏡橋はもとより、出島記念館、シーボルト記念館へも。続いて雲仙に宿泊し、地獄めぐり、島原城に武家屋敷、名物の具雑煮を食べ、諫早湾干拓の潮受堤防まで見学。

二度目は2泊で広島、愛媛、徳島旅行です。尾道千光寺、錦帯橋(山口)、厳島神社、大和ミュージアム、フェリーで瀬戸内海を渡り、道後温泉本館

で湯につかった後は坊ちゃん団子を食しながら正岡子規の伝記を読む。大歩危、小歩危から祖谷のかずら橋、坂東俘虜収容所ロケ地、四国八十八ヶ所第一番札所の靈山寺。

そして2006年の圧巻は東北一周夏祭り旅行。花笠、^{かんとう}竿燈、ねぶた、七夕の4大祭りが同じ週にあることを知り一気に回りました。祭りは夜が中心ですので昼間は宮沢賢治・新渡戸稲造・野口英世・松尾芭蕉の各記念館、太宰治の斜陽館、三内丸山遺跡などをめぐり、角館武家屋敷、白神山地青池、奥入瀬、秘湯乳頭温泉と体重が落ちるくらいに精力的に回りました。翌2007年はなんと21県を周遊しました。

そのような旅行も、長男が大きくなり陸上の部活動も忙しくなる中、機会も無くなってきましたが、2012年にイタリアへ気ままな一人旅をしました。毎年の年賀状が思い出の写真ですが、その年の年賀状を思い出の1枚として掲載させていただきました。旅の思い出以上に、多くの方々との話題が豊富になったように思います。